



ニュースレター あすか

2012
9月号

通算 234 号

2012年9月1日

あすか介護方針・五カ条

『あすか介護方針』が決まりました

一、「気持ちよかった！」入浴

一人の職員が心をこめて安心して入浴していただくことを大切にします。

二、「すっきりした！」排泄

「トイレに行きたい」と「トイレに座る」を大切にします。

三、「おいしかった！」食事

「食べたい」と「口から食べる」を大切にします。

四、「心が通った！」コミュニケーション

あなたの気持ちを大切にします。

五、「できた！」夢 思い

「こうなりたい」「こうしたい」想いを大切にします。



医療法人あすかでは、よりよい介護を実践する

ために研修会を重ねています。寝たきりだった方が、座って一日を過ごせるようになった。一日中、

オムツだった方が昼間はトイレで用を足せるようになった。姿勢を整えることで食事介助の時にエプロン

をはずすことができた。無表情だった方が笑顔をみせてくださるようになった…。介護の仕事は、こんな

喜びを与えてくれます。そしてこの仕事をしていることに誇りを感じます。すべての職員がこの思い

を共有してほしいと思います。そのためには、あすか全体の介護観を統一する方針が必要と思ひ作

成に取りかかりました。利用者様が望む介護とは何だろうか？ 私が施設を利用するなら、してほ

しいこと、してほしくないことは何だろうか？とあすかの職員からの声をひろい、何度も話し合

い重ねて『あすか介護方針』を作成しました。

その柱となるものは、『人の尊厳を大切にし、その人らしい生活を支えます』です。「尊厳」は、あすかの経営理念の根本になっています。また、

『その人らしい』とは、『その人』と『人らしい』という意味があり、『その人』という個別的、習慣、こだわりを大切にすること。『人らしい』という

『人』として当たり前の生活を支えます。という想いをこめています。この方針をより具体化した

ものが右記の五カ条です。

利用者様が安心して、あすかで良かったと思つてくだ

さるように、これからも職員一人ひとりの意識を高め、日々取り組んで参ります

(教育委員会 森元 智代)

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見るができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：新宅 佳那子)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

【目次】

【ページ】

1. あすか介護方針が決まりました・・・・・・・・・・1
2. あすか研修会のご報告
3. 事業所だより (つどい)・・・・・・・・・・2
4. 夢プロジェクト (いわや、みどりい)・・・・・・・・3
5. 事業所だより (いわや、しゅりあ・野ばら)・4
6. 事業所だより (まやる)、作品紹介・・・・・・・・5
7. おもしろきかな我が人生
～西村 弘子さま～・・・・・・・・6
8. 若竹句会 7月作品抄
9. おいしく元気になるレシピ 第7回・・・・・・・・7
10. あすかスタッフに迫る！・・・・・・・・・・8

平成24年度 第12回 医療法人あすか 研修会

テーマ：『ともに生き、ともに輝く』
日時：平成24年7月8日(日)
場所：西区民文化センター 大会議室

医療法人あすか恒例の『あすか研修会』を7月8日(日) 西区民文化センター・大会議室で開催しました。この研修会は当日の勤務者を除き、大半の職員が参加する医療法人あすかにとって、大切な行事の一つです。今年は120名が参加しました。

研修会のはじまりに理事長から「人間として、社会の一員としての成長を遂げることを期待している」との言葉がありました。

今回のテーマは『ともに生き、ともに輝く』です。これは今年度医療法人あすかに新たに誕生した社是です。

これを実現するために、私たちは医療・看護・介護の知識、技術を法人内外で学んできました。学んだことを現場に活かした結果を各事業所がケースレポートとして発表しました。他の事業所の具体的な取り組みを見て、「すごい」「是非、自分の事業所でも!」と仲間の頑張りに感心や感激をし、お互いにより刺激を受けました。

中盤は各委員会による報告や研修です。これだけの多くの職員が集まるこの研修会は、全員に必要な委員会からの伝達や研修をするまたとないチャンスです。

そして、終盤は事業部長による『人生の達人を目指して』のワークショップです。

1. あなたが仕事上で大切にしていることベスト5を書いてください。
2. あなたがプライベートや家庭で大切にしていることベスト5を書いてください。
3. あなたの人生の中でこうはなりたくないことベスト5を書いてください。
4. あなたが人生の中でこうありたいことベスト5を書いてください。

これらをそれぞれが考え、ペアになった相手に聞いてもらいながら自分の本心に望ましい状態のイメージをつかんでいきました。私たちあすかの職員は、患者様、利用者様、家族、友人、仕事仲間、地域の方、多くの方々と大切に、『ともに生き、ともに輝く』ために、研鑽を重ね成長し続けたいと思います。

(教育委員長 三原千春)

いわや温泉『足湯ツアー』

つどいの家

6月は梅雨のため、お散歩の企画はあすか療養センターの屋上庭園と足湯コースとしました。いわやへ向かう車内で「ここがOさんの家よ!! 右に曲がったら私の家で、少し先に行ったらTさんの家があるんよ。」と遠足気分。ショートステイいわやを利用されていた方は、「ここは、綺麗じゃろ。まだ新しいけえね。」と他の利用者様に自慢をしたりと話に花が咲きました。足湯では、お湯をためて準備をしているときも、「足をお湯につけてええ? ええじゃろ?」と待ちきれない様子。足を浸けて「気持ちいいね。あったかいね。」「出たくないよ。」足湯の後は、いわやの屋上庭園で座ってコーヒーを飲まれる方、庭園を散策される方とそれぞれに過ごしました。帰りの車内では「いい思い出ができたわ。また連れて来てね。家に帰ったら今日のことを話さんといけんわ!!」と喜んでいただきました。

これからも、すぐ近くにあるあすか療養センターの屋上庭園や足湯を、楽しみ場としてどんどん活用していこうと思います

(吉山 幸幸)





夢をかなえるプロジェクト



★ 利用者さまの夢を叶えるお手伝いをいたします! ★

* ショートステイ いわや *

『もう一度あの頃に!』

道菅宅真様の夢

道菅様は43年間小学校・中学校の先生をし
いらつしやいました。今でも、新聞やテレビのニ
スを真剣に見ていらつしやいます。気になる言葉
あればメモを取るなど、今も『教員魂』を忘れ
おられません。また、音楽のプログラムの時間
も「この唄はどうですか?」と積極的に提案して
だします。

そんな道菅様に現役の教師として活躍して
きたと思ひ、音楽の時間に司会をしていただ
くとを提案させていただきました。普段から、背
を着ていらつしやる道菅様ですがネクタイを
締めた途端、背筋がシャキツとし、
すっかり『先生の顔』に戻りました。そんな、
道菅様に利用者様、スタッフか
らは「おおー!」との声か。

音楽のプログラムが始まると、緊張の姿は
なく自然体で自己紹介をされ、



「何が唄いたいですか?」「次はこれを唄
ましょうか。」と他の利用者様を気遣いなが
らプログラムを進めていくことができました。ま
た、曲についての解説も分かりやすく、最後
までスタッフの出る幕がないくらいでした。そ
れぞれの方にはそれぞれ歩んでこられた人
生があります。私たちにとつても、道菅様
が生涯をかけて極めた教育者としての人生
を知る貴重な機会となりました。これから
も利用者様一人ひとりがより輝けるよう
に利用者様との時間を大切にしていきたい
です。



* ショートステイ みどりい *

『88歳の誕生日会』

前マスエ様の夢

7月15日、前マスエ様の88回目の誕生日会
を開きました。前様に、あらかじめ家族か
らお預かりしていたプレゼントの素敵な
ブラウスを着ていただき、お顔にはうす
ピンクの口紅をさし、準備万端。前様は
「何かあるんかね?」と。しばらくすると
息子様ご夫婦、お孫さん、ひ孫さん
とご家族総勢12名が来られ、びつくり
された様子でした。そのまま、皆様こ
一緒に階段園のある会場へ。

大きな誕生日ケーキを前にし、ご家族そ
ろつての記念写真ほか、何枚も撮られ
ました。「おばあちゃんおめでとー!」と
お孫さんからの言葉に前様は終始笑顔
が絶えませんでした。数年ぶりにご家族
が揃い、懐かしい時間を過ごしていただ
くことができました。

(森元智代)



～七夕～ ショートステイいわや

いわやの七夕では、利用者様に短冊に願いごとを書いていただき、その願いごとをお一人ずつ皆様の前で読んでいただきながらみんなで作った天の川に吊るしていきました。

いろいろな願いごとがありました。「健康でいられますように。」「楽しく生きたい。」「家族みんなが元気でありますように。」など、とても前向きで明るい願いごとから、「お酒が飲みたい。」「鶏肉を腹いっぱい食べたい。」などユニークな願いごとまで、みんなの夢がいっぱい詰まっていました。そして最後に、ある利用者様が「カープが優勝出来ますように。」と言われると一斉に拍手が起きました。

短冊を吊るしたあとは、利用者様と職員が作った手作りゼリーを食べました。七夕の歌を歌う皆様の表情はとても生き生きとされ、笑顔いっぱいでした。たくさんの願いごとで飾られた素敵な天の川は、今もフロアに飾ってあります。皆様の願いごとが叶いますように。

そしてカープが優勝出来ますように・・・☆シ

(平本 崇浩)



♪七夕コンサート♪

しゅりあちょーく・野ばら

今年も利用者様が心待ちにされていた『アンサンブル・アリオーソ』によるクラリネットコンサートが行われました。緊迫した空気の中、最初の一言が静かにフロアに響き渡り、徐々に複数の楽器が奏でる音が混ざり合います。利用者様の馴染みの曲『夏の思い出』から演奏はスタートしました。間近での生演奏音は、音の響きが空気を揺らし、心地よい振動が身体のすみずみにまで伝わります。馴染みの曲で大合唱したり、楽器の説明をして下さったり、クラシックの清浄な調べに心地良く酔ったりと、あっという間の1時間半でした♪最後に、しゅりあちょーく代表者によるお礼の挨拶と、野ばらの皆様手作りの花束贈呈が行われ、大きな大きな拍手喝采の中、コンサートは幕を閉じました。心と体に響く素敵な演奏会をまた開催したいです。

(深川 智美)



～アンサンブル・アリオーソについて～

アンサンブル・アリオーソは、クラリネットで繋がった仲間たちです。楽器を奏でる喜びに魅せられた私たちは、その思い燃え尽きることなく、こんなグループを結成しました。私たちの名前となっている『アリオーソ』とは、イタリア語で『うたうように』を意味します。私たちの歌声に代わってクラリネットの音色が、それぞれ吹き手の意思を持って、うたうように混じりあうアンサンブルを・・・ということをいつも思っています。



★七夕会★

まやるちょーく

まやるちょーくでは7月7日に七夕会を行いました。この日までに利用者様に書いていただいた短冊や職員と一緒に作った七夕飾りを笹の葉にくくりつけ、七夕会が始まりました。彦星と織姫に扮した職員の登場に、利用者のは拍手喝采！「かわいいねー。」と笑顔。職員による劇『天の川物語』も楽しみました。

その後は、彦星チームと織姫チームに分かれてボール送りゲームを行いました。「あっちに行ったよー！」「それっ！入れっ！」と懸命にボールを送り、彦星チームの勝利となりました。

最後は、天の川の帝王が「私が、皆様の願いをなんでも叶えましょう。」と自信たっぷりに宣言してくれたので、皆様安心して願いごとをお祈りしました。利用者様の笑い声と笑顔があふれた七夕会でした。

（阿川 愛美）



素敵な作品をご紹介します！

作品紹介

藤田 幸江様



河野 達子様



まやるちょーく作品

木原 艶子様



小髙 シズコ様



【手芸担当職員からのメッセージ】
少しづつ色を変えながら、丁寧に刺繍をされ、とても豪華な作品が出来上がりました。これからもお話を伺いながら、ゆつくりと手芸を楽しんでいただきたいと思います。



しゅりあよーく
田中 和子様
「持て帰っていい？」と言われしました。嬉しかったです。
チュールリップの刺繍の色選



ショートステイ いわや

にしむら ひろこ
西村 弘子 さま



おもしろきかな我が人生

大正14年2月22日(87歳)

・お住まい…安佐南区上安

・趣味…編み物



コーヒーが大好き!



【ブラジル生まれ】

私の両親は結婚してブラジルに渡ったの、だから私はブラジル生まれなのよ…九人兄弟の六番目よ。



両親はサンパウロでおもちゃを作っていたのよ。自宅の一階が作業場になっていて、現地の人を雇って木製のおもちゃを作っていたんですよ。出来上がったおもちゃはデパートに卸したり、自宅で販売もしていたの。子どもの私もサンドペーパーをかけたたりしてお手伝いしていたのよ。大きな家だね。長い階段があつて、毎週土曜日には家族みんなで大掃除をしていたのよ。

私が九歳のとき日本に帰国したんだけど、今思うとブラジルでは何不自由ない生活だったわね。でも父の両親が会いたいというので日本へ帰ったの。父の実家が安佐南区の安でその頃はまだ村だったの。安村よ。私はブラジルのほうが良かった。ブラジルはいい所よ。ブラジルの家は大きくて立派だったし、サンパウロは大きな町でしょ、帰国してしばらくはブラジルに帰りたくて仕方なかった。気候は日本の夏と秋だけだから、着るものもないじゃないでしょ。食事も全然違うの。パンと肉がほとんどでしょ。日本の食事は精進料理みたいだし、漬物ばかり。ブラジルでは魚はめったに食べたことがなかったけど、お刺身は食べたことがあったね。ブラジルでも魚を売りに来る人がいてね。とれたての魚を持ってくるんがあるの。それを刺身にして食べさせてもらって、おいしかったわ。

日本に帰国して困ったのはことばよ。日本語はブラジルにいる時はほとんど使うことはなかったの。父の弟が時々来ては日本語を教えてくれたけど、そのくらいじゃダメよ。字も書けないし、帰国してからは学校の先生が放課後残って教えてくださった。先生には感謝しているわ。でももっと困ったのが正座。正座なんてしたことないからすぐ足が痺れるの。そしたらママが足をつねるのよ。ママは厳しい人だったから、「お行儀よくしなさい!」って、アザだらけよ。よその家に行くのが一番つらかったね。

【卒業してから】

学校を卒業してから、広島区裁判所祇園出張所で事務員として採用されたの。十名以上の応募があつたね。その中から三人に選ばれたの。そして私が採用になったのよ。嬉しかったわ。仕事は楽しかったね。でもママが厳しいから仕事が終わったらまっすぐ家に帰っていたの。

就職した時父が自転車を買ってくれたのよ。その頃はまだ自転車も珍しい時代だね。白い帽子をかぶって自転車に乗っていたら、口笛を吹いて気を引いてくる男の人もいたのよ。若かった頃よ。通勤途中に川に飛び込んだこともあったわね。歩いている人をよけようとして、そのまま川に突っ込んだの。大した怪我はなかったけど、服がびしょ濡れでしょ。このまま働くわけにはいかないから、父に迎えに来てもらったの。働いている時の一番の思い出よ。その後転職して役場につとめたの。安村役場よ。そこで知り合った背が高い美男子と結婚した

のよ。そりゃあいい男よ。美男、美女だつてみんなに言われた。幸せだった。

【いわやへ来てから】

いわやへは孫が勤めているから来たのよ。ごはんがおいしくて、いつもごちそうで、満足しているわ。これからもここで元気に暮らしたいと思っているのよ。よろしくね。



西村さんの大切なふると、ブラジルで過ごした子ども時代のお話、いきいきとした青春時代のお話が聞けてとても嬉しかったです。西村さんの明るさ、やさしさの秘密が分かったような気がします。これからも「いわや」で楽しく元気に過ごしていきたいですね。

迫 哲子

若竹句会 七月作品抄 信廣高陽選 (平成二四年)

梅雨入りはいつのことやら 考える 河野 一枝
 (寸評) 梅雨入り宣言をしてから、一向に雨らしい雨が降らないことをなじつて一句にしたのはよかったが、その後が大変。大雨・洪水・雷警報などが出て、作者も内心困ったのではないでしょう。

花田植え 牛の衣装も あでやかに 松村キミエ
 (寸評) 飾り立てた牛が、代掻きをした後、大勢の早乙女が華やかに笛・太鼓・ささら等の囃しと歌に合わせて、早苗を田に挿していく花田植え。無形文化財に指定されて、牛もスター気分?

紫陽花や 大きな花弁 梅雨最中 吉岡千恵子
 (寸評) 花期は比較的花もの少ない梅雨の最中になるため、おおがらの花姿が一段と目立ちます。「紫陽花」と「梅雨」は季重ねですね。「紫陽花や大きな花弁得得と」にしたら。

父の日や 息子それぞれ 感謝の丘 西 富枝
 (寸評) 父の日の母親の気持ちがよく表れています。何よりの心のこもった贈り物に、お父さんの照れながら「ありがとう」の声が聞こえてくるようです。

田を植えて 歌声ひびく 世はのどか 石原 守恒
 (寸評) 花田植えでしょうか。笛や太鼓の囃しに合わせて、早乙女の田植歌が印象的です。

立つ座る 寝るのにさえも よいしょう 原田ツヤノ
 (寸評) 季語のない俳句ですね。私は、日常どこでも目に入ってくる初夏の爽やかな風景「柿若葉」を選びました。句全体が高齢化のかたまりみたいに感じられるので。修正句「柿若葉寝るのにさへもよこらしよ」

雨が降る 紫陽花だけは 嬉しそう 綿谷カツエ
 (寸評) 紫陽花は花ものの少ない梅雨の頃に咲くため、もてはやされます。「紫陽花はおもたからずや水の上」という名句があります。この句は、率直に雨が命と嬉しそうにしている紫陽花の様子が伺える佳句です。

梅雨晴間 家々にては 満艦飾 まんかんしよく 後藤 義高
 (寸評) 満艦飾は、停泊中の軍艦が艦全体を信号旗などで飾り立てることをいいます。転じて洗濯物を一面に干し並べることなどにたとえます。

(選者 吟) 幼き手 捲れば生きる かなぶんぶん 信廣 高陽

おいしく元気になるレシピ 第7回

～食ること…それは私たちの命の源です～

砂糖も化学調味料も使わない、なのに驚くほど美味しい『重ね煮』料理に出会いました。

岡山県の山間部で、マクロビオティックの考えを基本にした、この『重ね煮』料理を伝授されている船越夫妻によると、「『重ね煮』料理は本来野菜が持っている自然の旨みを最大限に引き出してくれる料理法」と言われています。これこそ“美味しく元気になる料理”です。

あすかの厨房でも、この『重ね煮』料理を取り入れ、利用者の皆様の健康に役立てたら…と願っています。

夏バテ知らずのラトウユ

【材料】2人分

塩	少々	トマト	
玉葱	200g	(トマトホール缶)	600g
赤ピーマン	200g	生しいたけ	100g
黄ピーマン	200g	オリーブオイル	大さじ1
青ピーマン	100g	酒	1/4カップ
茄子	120g	塩	少々

【作り方】

①鍋の底に塩をふり、オリーブオイルと酒を入れ、重ね煮の材料を切って鍋の中に重ねていき、最後に塩をふって蓋をする。

弱火にかけ、いい香りがしてくるまで煮る。野菜に火が通ったら、混ぜ合わせる。

②トマトはザク切りにしてからミキサーにかけ、①の鍋に加えてさらに30分以上弱火で煮込む。

仕上げに塩を入れて味付けをする。



洋泉社「野菜たっぷり重ね煮レシピ」参照

あすかスタッフに迫る！

Q. あすかに入社して何年ですか？

A. 8月で2年になりました。



つどいの家
統括主任
介護福祉士

たけむら かすや



Q. 仕事をする上で心がけていることはなんですか？

A. 私がいつも心がけていることは、利用者様に楽しく過ごしていただくことです。「楽しい」という気持ちが表れるのは「笑う」ことだと思います。お笑い芸人ではないですが、どうすれば相手の方が笑ってくださるか（声かけ、話題、話し方や身振り、手振り等）を工夫しています。そして、心からの満足感や幸せ感を感じながら「笑い」を引き出していきたいです。



Q. 今の目標はなんですか？

A. 認知症ケア専門士の取得です。より質の高い認知症ケアを実践できるように勉強しています。来年の7月の認定試験に向けて頑張っています。資格をとることでさらに自信をつけていきたいです。

Q. 趣味・楽しみはなんですか？

A. 趣味はゲームセンターに行く事と草野球です。ゲームセンターではオンラインで知り合った全国の人とゲームをしたりします。草野球は友人と楽しんでやっています。学生時代での経験はありませんが、20歳の時に仲間内での「やってみよーか!？」の一言で今に至ります。休みの前日には友人達と飲みに行くこともあります。

☆スタッフの声☆

誰にでも優しく、利用者様や職員からとても頼りになる存在です。利用者様から時には、「はよ、お嫁さんもらいんさい!」と言われる竹村さん。利用者様、職員一同、良い知らせを心待ちにしていますよ♪

インタビューー 伊藤 春奈

～ 医療法人あすかの経営理念 ～

『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。



当法人は、
ISO9001の認証施設です



医療法人あすかの医療・介護関連施設

緑井3丁目20-1-103

あすか居宅介護支援事業所

082-830-5177

あすか病児保育室

緑井3丁目20-1-102

リハビリデイ・ポシブルみどりい

緑井2丁目12-25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター まやるちよく

通所リハビリテーション すてつぷ

ショートステイ みどりい

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

毘沙門台東1丁目24-16

デイサービスセンター しゅりあちよく

デイサービスセンター 野ばら

あすか療養センター 緑井3丁目40-30

毘沙門クリニック

ショートステイ いわや

デイサービスセンター 野の花

【編集者のつぶやき】
連日、熱戦が続いたロンドンオリ
ンピックでしたね。選手たちの一生
懸命な姿に心打たれ、感動し、年々涙
もろくなってきたいる自分に気付い
た今日この頃です。笑
個人的には競泳陣と、女子サッ
カーの選手たちの笑顔が印象的でし
た。やっぱり笑顔っていいなあ〜。